

農村風景に 彩りを添える花

農地・水・環境保全向上対策事業の活動を紹介

町民の皆さんも、ここ数年水田周辺の法面や農道路肩、以前は雑草が繁茂していた遊休農地等に、美しく咲いた花が風に揺らめく風景を見かけたことがあると思います。

今年3年目となった農地・水・環境保全向上対策事業は、農村環境資源を農業者だけでなく、集落や老人クラブ・女性団体といった関係団体を含めた地域ぐるみで保全し、故郷の農村風景を守っていくことを目的として、活動しています。

各組織は、農道の補修や除草作業・水路の清掃をはじめとした、施設保全に関する活動の外、遊休農地や農道等を活用し、花の植栽を行い、農村環境資源を魅力あるものにするための景観形成を行っています。



武田地区：県道沿いの遊休農地に、武田の女性団体ダイヤモンドの皆さんを中心に、ヒマワリをはじめとした花を植栽しました。



立野地区：県道郡停車大須賀線沿いに、カナナをはじめとした花を植栽しました。これから冬にかけて、同所には葉牡丹が並びます。



神崎神宿地区：転作ほ場を利用して、レンゲを植栽しました。約1万坪の淡い桃色の絨毯に、町内外問わず多くの方が目を楽しませました。



古原地区：町道武田古原線沿いの農用地法面へのヒマワリ植栽状況。JA女性部古原支部と古原老人クラブが協同して、花を植えました。